

千葉県地方港湾審議会木更津港部会の結果（概要）

1 開催日時及び場所

日 時 平成22年1月21日（木） 午後1時30分～午後2時30分

場 所 プラザ菜の花 3階「菜の花」（千葉市中央区長洲1-8-1）

2 委員及び特別委員の現員数、出席者数並びに出席者氏名

（1）委員及び特別委員の現員数

委員：28名 特別委員：4名 合計：32名

（2）出席者数（代理出席を含む）

委員：22名 特別委員：4名 合計：26名

3 議 題

（1）木更津港部会部会長の選出について

（2）木更津港港湾計画の改訂（案）について

4 議決事項

（1）木更津港部会部会長の選出について

- ・部会委員の互選により多賀谷委員を木更津港部会長に選出
- ・多賀谷部会長から職務代理者に小和田委員を指名

（2）木更津港港湾計画の改訂（案）について

- ・原案（「木更津港港湾計画書（改訂）（案）」）のとおり適当であると認める。

5 主な質疑事項等

別紙のとおり

(別紙)

平成22年1月21日 千葉県地方港湾審議会 木更津港部会

主な質疑

(委員)

この計画は、どのくらいの期間と事業費で進めようとしているのか。

(事務局)

事業期間は概ね10年～15年、事業費は約155億円を想定している。

(委員)

今回計画の中で、来年は何を行うのか。

(事務局)

現在実施中の内港の緑地等の整備を引き続き実施していきたい。

今回計画の中からも事業化が可能なものから早期に国と協議していきたい。

(委員)

この計画が早期に整備されることを望んでいる。

(委員)

江川～吾妻地区の自然的環境を保全する区域について、東京湾の大きな環境資源であり、港湾計画にはあまりなじみや感心がない県民にも積極的にPRしていければよい。

(委員)

港湾計画の基本方針の中に、震災時に横浜港、川崎港の機能を、木更津港が補完するような視点が入っていない。将来は検討してはどうか。

(委員)

今回計画で震災対策はどのような対応をするのか、また既存の施設はあるのか。

(事務局)

今回計画で木更津南部地区の－12m岸壁1バースを耐震強化する。
富津地区の－7.5m岸壁1バースが既設の耐震強化岸壁になっている。

(委員)

今回計画の耐震強化岸壁について整備の優先順位をあげておいた方がよい。

(委員)

吾妻地区と木更津南部地区の整備促進を要望してきた。
吾妻地区は施設が老朽化しているが、整備が進んでいない。
計画が絵に書いた餅にならないよう、計画的に事業化を進めてもらいたい。

(委員)

貨物量が多い、新日鐵君津製鉄所と東京電力へのヒヤリング結果を教えてほしい。

(事務局)

東京電力富津火力は、東京湾内の各発電所で使用するLNGを受け入れており、発電施設としては最新鋭の施設である。LNGの取扱量としては、柏崎原発運転再開にともない、若干減少する見込みと聞いている。

君津製鉄所については、新日鐵の中でも主力工場である。貨物取扱量としては、中国向けの鋼材の輸出が増えており、公共埠頭における取扱も伸びる見込みと聞いている。